

8. 単元名「ひみつきちプロジェクト」(全52時間) 1次案 わかくさ学級 ※グループによって、内容や児童の意見が異なる。

	子どもの声・姿・意識 (生活単元学習→生単 総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・技能 ◎思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
	<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px;">話し合いを通して材を決め、材への熱意を高める。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のうどんが大成功だったから今年度も楽しみ。 ・わかくさの中庭を使いたい。 ・衣、食、住なんてどうかな。 ・外には虫がいるから嫌だな・・・。 ・本当に遊べるアスレチックを作りたい。 ・またグループに分かれて活動しようよ。 ・ブランコや滑り台を作って、中庭を公園みたいな場所にした い。 ・鳥が住める場所を作ろうよ。 ・カブトムシやクワガタも飼ってみたいな。 ・すてきな植物を育ててみたい。 ・大きな倉庫ってどこせるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の生単や総合、桜町フェスティバルの振り返りをする。 ○今年度探究していく材についてアイデアを出し合う。 ○材を絞る。 ○決まった材について探究の可能性を探る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の活動を思い出しやすくするよう、写真や動画で昨年度を振り返る。 ・昨年度末にアンケート(来年度取り組んでみたいこと)を取った結果も参考にする。 ・材決定のためのヒントとして、わかくさ学級の中庭を使えることを教師から伝える。 ・学年ごとに分かれた少人数で、取り組みたいことについて考える。 ・児童の実態に合わせて、イラストや画像を使用して、分かりやすくするための工夫を取り入れていく。 	<p>[1:課題を見出し、把握している] [4:学びを振り返り、次につなげている]</p> <p><③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力></p> <p>◎身に付けた知識及び技能を、課題に合わせて選択したり組み合わせたりして適切に活用している。</p> <p>[2:課題解決の方法を考えている] <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力></p> <p>○「ひみつきちづくり」についての話し合いを通して、情報を既存の知識や体験と結び付けている。</p>
一 学 期	<p style="text-align: center; background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px;">理想の実現に向けて、まずはやってみる。課題の把握(14)</p> <p>[ピカベーチ]「テーブルや椅子を作りたい。」 [鳥の家をつくろう]「鳥の家を作りたい。」 [ファーブル昆虫記]「自分たちで昆虫を捕まえたい。」 [ターザンラン]「去年行ったアスレチックみたいにした。」 [フラベジきのこ]「いろいろな野菜を育てたい。」</p> <p>[ピカベーチ]「建築部とデザイン部に分かれて作ろう。」 [鳥の家をつくろう]「鳥の家の作り方を調べよう。」 [ファーブル昆虫記]「自分たちで捕まえた昆虫を育てたい。」 [ターザンラン]「タイヤを使った遊具にしようよ。」 [フラベジきのこ]「かわいいお花畑を作りたい。」</p> <p>[ピカベーチ]「どうやったら上手に作ることができるかな。」 [鳥の家をつくろう]「材料を集めよう。木のお店に行ってみよう。」 [ファーブル昆虫記]「育てる環境をもっとよくしたい。」 [ターザンラン]「材料はどうやって手に入れよう。」 [フラベジきのこ]「きのこって木に生えるのかな。育ててみたい。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ毎に活動に取り組んでいく。 <ul style="list-style-type: none"> ・虫の家作り ・鳥の家作り ・ベンチ、テーブル作り ・花、キノコ、畑作り ・アスレチック作り ○ひみつきち作りを探究していくために、何にどんな順番で取り組んでいくか計画を立てる。 ○必要があれば関係している人物や機関と連携しながら作成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合った内容を整理するために、グループ毎に担当の教師が付き、円滑に活動が行えるようにする。 ・活動グループに愛着をもてるようグループのオリジナルの名前を決めるようにする。 ・他の教科の時間を使って知りたいことややってみたいことについて取り組んでもよいことを伝える。 ・活動の初めに、前回の振り返りを毎回行う。 ・計画を立てることが難しい児童もいるため、教師との対話を中心の一つ一つの過程を具体的に決めていく。 ・外部との連携は、教師が主となって取り組んでいく。 ・中庭で40名同時に活動することは困難なため、活動場所を分ける。 	<p><①人間関係形成・社会形成能力></p> <p>[2:課題解決の方法を考えている] [3:協働して学んでいる]</p> <p><③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力></p> <p>◎計画の過程で発生した問題から課題を見出し、ICT 機器を活用してよりよい解決方法を探ることができる。</p> <p>[3:協働して学んでいる] <①人間関係形成・社会形成能力> <③課題対応能力></p> <p>●材料の調達方法などの話し合いで、よりよい解決に向けて主体的に取り組んでいる。</p>

もっとすてきなひみつきちにするためには？安全により楽しめるひみつきち作り(20)				
二 学 期	<p>[ピカベーチ]「テーブルや椅子は丈夫にして、みんなで使えるようにしたい。」</p> <p>[鳥の家をつくろう]「作った家を木の枝に付けてみよう。鳥が来てくれるかな。」</p> <p>[ファーブル昆虫記]「土を昆虫が住みやすいものにしたい。」</p> <p>[ターザンラン]「タイヤを固定しないと危ないね。」</p> <p>[フラベジきのこ]「ひまわりの花きれいだったな。でも小さかったな。」</p> <p>[ピカベーチ]「こんなデザインのテーブルや椅子があったらいいな。」</p> <p>[鳥の家をつくろう]「鳥のエサを家の近くに置いてみよう。」</p> <p>[ファーブル昆虫記]「どうしたら冬をこせるんだろう。」</p> <p>[ターザンラン]「高さのある遊具って作れるかな。」</p> <p>[フラベジきのこ]「雑草がいっぱい。」</p> <p>[ピカベーチ]「ティーパーティーを開きたい。」</p> <p>[鳥の家をつくろう]「寒いけど、あたたかい鳥の家にしよう。」</p> <p>[ファーブル昆虫記]「養蜂してみたい。」</p> <p>[ターザンラン]「いろんな遊び方ができるね。」</p> <p>[フラベジきのこ]「花壇に秋や冬に咲く花を咲かせたい。」</p>	<p>○形になってきた制作物の安全性や、改良点について話し合う。</p> <p>○話し合った内容を基に、改良を加える。</p> <p>○他のグループへのアドバイスやアイデアを伝える。</p> <p>○他グループからの意見を基に、改良を加える。</p> <p>○完成したひみつきちで遊ぶ。</p> <p>○今後の使い方について考える。</p>	<p>・今までの学習を生かせるように、グループ毎に学習の軌跡を残しておき、振り返りやすくする。</p> <p>・様々な場合を想定して、安全性や耐久性について話し合っていく。</p> <p>・安全管理を徹底して行う。児童もその意識を強くもつよう促す。</p>	<p>[1:課題を見出し、把握している]</p> <p>[2:課題解決の方法を考えている]</p> <p><①人間関係形成・社会形成能力></p> <p><③課題対応能力></p> <p>●ものづくりに楽しさや喜びを感じ、めあてをもって活動に取り組んでいる。</p> <p>○ものづくりに必要な技術や手順を知る中で、必要な技能を身に付けることができる。</p>
完成したひみつきちでやりたいこと(12)				
三 学 期	<p>・1学期に生単で作ったおにぎりをみんなで作って、外で食べたい！</p> <p>・生単の時間に外でスープを作って飲もう！</p> <p>・交流級のみんなを呼びたい！</p> <p>・他のグループに自分たちが作った場所を紹介したい！</p> <p>・先生達も遊んでいいですよ！</p> <p>・わかきひみつきちがあることをみんなに知ってもらいたい！</p>	<p>○完成したひみつきちを使って何をしたいか考える。</p> <p>○桜町フェスティバル等でわかきひみつきちの魅力を紹介する。</p> <p>○今年度の成果と課題をまとめる。</p>	<p>・今までの活動の写真をもとに、自分たちにしかできない魅力発信を考えるよう促す。</p> <p>・言葉に説得力をもたせるために、実体験したことをもとに話すよう促す。</p> <p>・さらに追究したいことを記録しておく。</p>	<p>◎これまでの活動を振り返り、作ったものをいつ、どのように活用するのかを考えることができる。</p> <p>[1:課題を見出し、把握している]</p> <p>[2:課題解決の方法を考えている]</p> <p>[3:協働して学んでいる]</p> <p><①人間関係形成・社会形成能力></p> <p><③課題対応能力></p> <p>[4:学びを振り返り、次につなげている]</p>

材（ひみつきちづくり）のもつ価値

- ・ものづくりを通して木材の計測、○等分など算数的活動を実践することで、算数が生活に生きることを知り、活用することができる。
- ・鳥の巣箱やアスレチックなどを作ることの難しさを感じ、解決策を考えることができる。
- ・ものづくりを通して手先の運動になり、微細運動、様々な感覚を経験することができる。
- ・四季折々の自然(虫や花、野菜、きのこ)とふれあう中で、豊かな学びや感性を育むことができる。
- ・実際に自分で作ることで、ものづくりへの興味関心が高まる。

材（ひみつきちづくり）に寄せる子どもたちの思いや願い

★自分の興味のある物を自由に作りたいと願っている。

- ☆身近な中庭をみんな協力して、もっと楽しい場所にしたいと願っている。
- ☆作るのが難しそうなものも作り方を考えて作りたいと願っている。
- ☆技術面を向上し、安全に楽しめる場所を作りたいと願っている。
- ☆桜町小学校の友達にも遊んでもらいたいと願っている。
- ☆作ったひみつきちを使ってできることに思いを膨らませている。

★…子どもたちの深層にある求め(子どもたちが一番やりたいこと・願い)